

令和6年度 学校経営方針

北九州市立足立中学校

社会の変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓くことができる生徒、また、持続可能な社会の創り手として社会で活躍できる生徒を育成するためには、日常の教育活動を創造した学校教育を進めることが重要となります。

本校においては、国の方針や北九州市の教育施策「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」等をもとに、教職員一人ひとりが高い専門性と使命感、情熱を持って教育にあたり、生徒の学びの質を高めるための教育活動の充実に努めていきたいと考えています。

校訓：『英知 礼節 錬磨』

- 英知 積極的・意欲的に自ら学びとる力を持つ生徒
- 礼節 きまりを守り、礼儀正しく信頼される生徒
- 錬磨 根気強く、豊かな心とたくましい身体を持つ生徒

1. 学校教育目標

一人ひとりの個性を大切にし、
生きる力を培い、社会に貢献できる生徒の育成

2. めざす学校像、めざす生徒像、めざす教師像

【めざす学校像】

学びと笑顔にあふれ、保護者・地域から信頼される学校

- ・生徒と教師、生徒相互が信頼関係で結ばれ、自己存在感や成就感を実感できる学校
- ・生徒・教師が明るく元気に生き生きと安心して生活できる学校
- ・清潔で美しく、落ち着いた環境で生活できる学校
- ・開かれた学校づくりを推進し地域に愛される学校

【めざす生徒像】

向上心にあふれ、思いやりのある優しい生徒

- ・自ら学び、自ら考え、自分の目標に向かって努力する生徒
- ・学習や運動に根気強く取り組むことのできる生徒
- ・思いやりの心をもって優しい言葉かけや行動がとれる生徒
- ・礼儀正しく挨拶ができる生徒
- ・きまりを守り、善悪を正しく判断し、責任をもって行動できる生徒
- ・清掃活動や奉仕活動に積極的に取り組む生徒

【めざす教師像】

使命感にあふれ、教育愛に満ちた教師

- ・優しさと厳しさを兼ね備え、優れた指導力をもつ教師
- ・愛情ある指導で生徒・保護者・地域から信頼される教師
- ・研修を深め、専門職として自ら資質の向上に努める教師
- ・危機管理意識をもち、誠意ある対応と迅速な行動がとれる教師
- ・チーム足立中の一員として一体となり、互いに信頼し支え合う教師

3. 学校の研究テーマ

～職員研修体制の確立と主体的に学ぶ力を高める授業づくり～

- ➡課題に対して考えを広げ、深める「協働学習」と
一人ひとりの学習状況に応じた「個別最適化学習」の展開

4. 本年度の重点目標

- ① 各教科等においてICTを効果的に活用した「学習指導」の充実
- ② 「心の教育」の充実をめざす「道德教育」と「人権教育」の推進
- ③ 一人ひとりの生徒の心をつかむ「生徒指導」と「特別支援教育」の充実
- ④ 将来への夢や展望を抱き、自己実現をめざす「キャリア教育」の推進
- ⑤ 体力の向上及び健康で安全な生活を送るための「健康・安全教育」の推進

5. 重点目標達成のための具体的方策（番号は「4. 本年度の重点目標」と関連づけ）

① 学習指導の充実

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業改善と「わかる授業」の実践を推進する。
 - ➡年間指導計画に沿った適切な指導と評価基準を基にした信頼性・妥当性のある評価（指導と評価の一体化）
 - ➡「わかる授業づくりの5つのポイント」を実践するための効果的なGIGA端末の活用
- 基礎的・基本的な内容の確実な定着のため、個に応じた指導の充実を図る。
 - ➡朝自習（基礎学力、読書活動、ICT活用等）・放課後学習・少人数指導

②-(1)道德教育の推進

- 生徒の内面に根ざした道德性の育成が図られるよう、教育活動全体を通して、道德教育を充実させる。
 - ➡新版いのち、北九州道德郷土資料等の活用

②-(2)人権教育の推進

- 公教育の立場を踏まえ、生徒の発達段階に即した、人権尊重の教育を系統的に進める。特に、「いじめ」は絶対に許されないという認識を共有し、指導する。
 - ➡「北九州子どもつながりプログラム」「明日への伝言板」や「人権作品」の取組を通して人権感覚を涵養

③-(1)生徒指導の推進

- 積極的な生徒指導を柱として全教職員共通理解のもと、生徒指導主事を中心とした校内指導体制を確立し組織的な対応（「報告・連絡・相談＋記録」）に努める。また、教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係づくりに努める。
 - ➡生徒指導の三機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を軸にした指導
- いじめの問題や不登校、その他問題行動等の早期発見・解決のための取組や教育相談活動を充実させ、家庭、地域、関係機関との連携を図る。
 - ➡生活アンケート、SUTEKIアンケートや定期的な教育相談等
 - ➡スマートフォン等におけるネットトラブル防止のための情報モラル教育の実施

③-(2)特別支援教育の充実

- 障がいや特性のある生徒を理解し、共に成長しようとする生徒を育成する。
- 生徒一人ひとりに応じた指導を推進するため、コーディネーターを中心とした校内支援体制を確立し、指導の充実を図る。

- ➡特別支援教育に関する校内支援体制をよりよく充実していくための８項目
- (1)校内委員会の充実 (2)コーディネーターの役割 (3)実態把握
 - (4)指導計画の作成 (5)特別支援教育センターの定期的な活用
 - (6)的確な就学相談 (7)関係機関との連携 (8)支援計画の作成

④ キャリア教育の充実

- ３年間を見通した進路学習・「生き方」について学ぶ機会を計画的に実施する。
➡学校行事、学年行事での体験活動の実施や人生の先輩の話聞く進路講演会等
- 挨拶、言葉遣い、身だしなみ、時間を守るなどの社会で必要とされる礼儀・マナーの指導を重視する。
- シビックプライドを醸成し、まちづくりに主体的に参加し郷土愛を育む。
➡地域イベントへの積極的な参加

⑤健康・安全教育の推進

- 生徒の安全を確保するため、火災・地震・津波・不審者侵入等の様々な場面を想定した避難訓練や防災に関する指導を充実する。
➡危機管理の「さ・し・す・せ・そ」を意識した行動の徹底
- 健康・安全や体力向上に対する意識を高めるための指導を充実する。
➡身体測定による成長の記録と「新体力テスト」の効果的な実施（１校１取組）
- 学校給食を生かした「食育」指導を推進する。